

令和3年度全国キャリア教育・就職ガイダンス 事例紹介

A5

大学が主体となって

”学生と雇用側のマインドを変えたい”事例

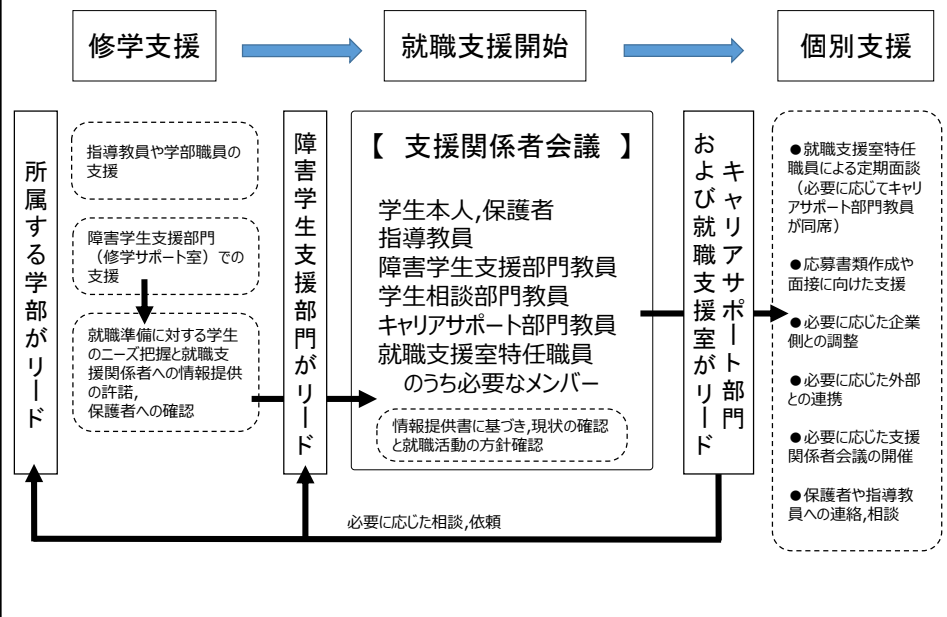
#障害学生 #オンライン

静岡大学 学生支援センター
キャリアサポート部門 宇賀田栄次
ugata.eiji@shizuoka.ac.jp

静岡大学は、旧制の静岡高等学校、静岡第一師範学校、静岡第二師範学校、静岡青年師範学校、浜松工業専門学校（旧浜松高等工業学校）の統合（1949年）と静岡県立農科大学の移管（1951年）を経て国立大学として設立され、2004年に国立大学法人化。学部生約8,500人、大学院生約1,600人が、静岡、浜松、2つのキャンパスで学んでいる。



障害学生に対する修学支援から就職支援への流れ



障害学生（グレーゾーン含め）のキャリア支援における課題

就業意識醸成の機会が少ない

多くの学生が「修学」に精一杯の学生生活を送っている。
アルバイトなど就業意識の醸成につながる体験が少なく、組織に所属して働くことを想像することが難しい。

自分の特性を説明しにくい

何となく上手くいかないと感じている場面はあるが、何ができて、何ができないのか、他人に説明することが難しい場合がある。また、大学入学後に診断を受ける学生もあり、特性を受容することに時間がかかる場合もある。

求人内容とのマッチングが困難

「障害者向け公開求人」は「軽作業」が多く、できるだけ一般枠と変わらない就労を希望する学生とのマッチングが困難。また、「連絡もらえば個別に対応する」という企業は多いが、仕事内容が分からないため学生の応募喚起に結びつけにくい。

学生と雇用側のマインドを変えたいこと①

**一般枠(正社員 総合職)か
障害者枠(非正規 軽作業)か
二択からの脱却！**



障害学生の「得意なこと活用」「能力開発」を
前提とした求人を地域内で増やし、
マッチングをスムーズにしたい

事例①「静岡県内自治体障害者採用説明・相談会」の開催

自治体での発達・精神障害学生の採用を促進



地域内雇用の拡大へ

2019年度ポスター



2018年度卒業者のうち、自治体の障害者枠での進路決定者が数名おり、「採用情報を収集するのに苦労した」との感想があったことをきっかけに、2019年度初めて企画した。2020年度は希望者への資料配布のみ。2021年度はオンラインで開催した。

静岡県労働雇用政策課の協力を得て、県内全市町に呼びかけた。また近隣大学にも学生の参加を呼びかけた。

募集自治体等には、順番に概要を説明いただいた後、個別ブースで質問に対応いただいた。

(2021年度 説明：各20分、個別：20分)

事例①県内自治体障害者採用説明・相談会の成果と課題

	2019年度	2020年度	2021年度
	対面	資料配布	オンライン
参加自治体等	7	5	7
参加学生	9名（他大学無し）	—	12名（うち他大学3名 既卒1名）

- 開催3回目となり、参加学生の広がりがみられた
- 2021年度参加学生のうち5名からアンケート回答
満足度は（大変満足2，満足2，もの足りない1）
- 2021年度（オンライン）は学生は「画面OFF」「ニックネーム」のため、「参加しやすかった」との意見もあり
- 発達・精神障害学生の雇用環境の改善については道半ば・・・

事例②オンラインによる「おしごと研究ナイト」の開催



「おしごと研究ナイト」企画背景

1. 対面イベントの代替として

2. 就活不安の高まり

3. 働きやすさ偏重への危機感

「おしごと研究ナイト」の概要

- ・ビデオ通話アプリ「ZOOM」を使った学生と社会人が語る場
- ・学生の志向やテーマ別開催
- ・「働きがい」に関する共通理解を前提に
- ・ニックネームでの参加により心理的距離を縮め、質問しやすい場に
- ・学生の個人情報につながるものは排除

前半
60分

メインフロアでオープニング・趣旨説明（8分）
以降4回のブレイクアウトセッション（小部屋に分かれて意見交換）
1回目セッション（8分 社会人1名＋学生2-3名で自己紹介＆対話）
メインフロアに戻り、社会人自己紹介（お一人あたり「30秒！」）
2・3回目セッション（各10分 話を聞きたい社会人のセッションへ学生移動）

休憩＋テーマ募集（10分 後半の話したいテーマを募集）

後半
50分

テーマ発表・セッション準備
4回目セッション（15分 希望テーマのセッションへ全員自由移動）
5回目セッション（15分 希望テーマのセッションへ全員自由移動）
全体共有

これまでの「おしごと研究ナイト」の開催

	開催日	開催時間	テーマ	参加者数(進行除く)
第1回	2020年8月29日(土)	19時～21時	自治体で働く人編	学生13名 社会人10名
第2回	2020年9月9日(水)		自治体で働く人編	学生19名 社会人17名
第3回	2020年9月19日(土)		民間企業で働く人編	学生17名 社会人5名
第4回	2020年9月26日(土)		学校教師編	学生44名 社会人15名
第5回	2020年10月17日(土)		学校教師編	学生30名 社会人10名
第6回	2021年1月23日(土)		金融機関で働く人編	学生19名 社会人4名
第7回	2021年3月7日(日)		自治体で働く人編	学生36名 社会人18名
第8回	2021年5月30日(日)		メディア・広告業界で働く人編	学生46名 社会人20名

- 県内他大学のキャリアセンター等にも案内し、他大学からも多く参加
- 静岡市が運営する若者就職支援サイト「しずまっち」でも案内することで、県外大学生も参加
- 社会人は知り合い経由での紹介のみ(全国から参加)
- 全体進行は、「静大フューチャーセンター」の学生が担当

「聞いてみたいこと、悩んでいること」(学生申込時)

すべての質問を事前に社会人に共有

<自治体で働く人編・民間企業で働く人編 抜粋>

大学2年生の秋頃、みなさん何をして過ごしていたのか気になります。
新型コロナウイルスの影響で採用数が減られることに重ねて、公務員の倍率が上がるという話を聞いて不安に感じています。
(もしあれば)「仕事へのモチベーションが出ない…」と思った時に、どうやって仕事へのモチベーションを取り戻しているか
働く上でやりがいと感ずることや、学生のうちにやっておくべきことなどについて詳しくお聞きしたいと思っています。また、現在2つの職種でどちらを選択しようか悩んでいるため、進路選択をするときに何を基準に今のお仕事を選んだのかについてもお話を伺いたいです。
・いつ頃から、何がきっかけで社会人になるときのことを現実的に考え始めたのか
・就活や将来のことについての不安やモヤモヤが漠然としすぎてます。そんなときに、「こうしてみたら、こんなことやってみたら」なことがあれば教えて欲しいです!
・公務員を志望しているのですが、コロナの影響で、インターンにも行けず、どんな仕事をしているのかまだ不鮮明な部分も多いため、仕事内容や職場の雰囲気について具体的に聞いてみたい。また、その中で自分の能力が生かせる場所はあるのか考えたい。
企業から公務員で迷ってます。企業の方が楽しそうだけど、公務員は福利厚生が決めでです。それと、公務員も県庁とか市役所とか、場所によっての違いも知りたいです。
・今働いている自治体を選んだポイントはどこだったのか
地元就職をするか迷っている
やりがいを重視して決めたいが、何を重視して決めたいか
仕事は嫌だけど頑張ってる、他の時間を趣味の時間に行っているか
自分の希望の職業をどのようにして明確化させたか。自分の関心があることと職業をどうやって結びつけたか。
・大学生のいつ頃から就活について本格的に考え始めたか
・大学生の間にやっておくべきこと、やった方が良いことはあるか
現職から先のキャリアパスを描いたことはありますか?(転職・副業・プロボノetc)あればその具体的な内容を教えてください。また、「今の自分ならこういうファーストキャリアを築く」というものがあればそれも教えてください。
現在、アルバイトやサークルを行っていない為就職活動の際に面接等で「勉強以外に頑張ったことは何か」と質問をされたときの回答内容を検討しています。もし学生時代にアルバイトやサークル活動が少なかった方もしくは行っていない方がいらっしゃいましたら、上記の質問等にどのように対応していたかを伺いたいです。
公務員になることの利点、向いている人、公務員試験について。院に行くべきか。

効果の測定②(満足度と自由記述から)

対面イベントと変わらない学生満足度

	テーマ	事後アンケート 回答数(学生)	満足度平均 (10点満点)	満足度 最低点/中央値
8/29	自治体で働く人編	29名	9.06点	4点/10点
9/9	自治体で働く人編			
9/19	民間企業で働く人編			
9/26	学校教師編	64名	8.53点	5点/9点
10/17	学校教師編			
1/23	金融機関で働く人編	14名	9.07点	5点/10点
3/7	自治体で働く人編	24名	8.79点	7点/9点
5/30	メディア・広告業界で働く人編	41名	8.89点	7点/9点

自由記述内容は大きく5つに分けることができた

不安が解消できた

イメージが変わった

働く面白さ、やりがいに
気づいた

働く上での大切なこと
を理解できた

自分への自信が
ついた

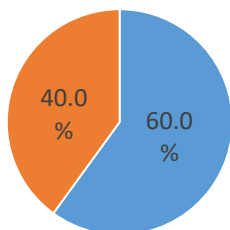
効果の測定③(「働きがい」への意識変化)

仕事や職場に求めるもの(選択は3つ以内)	事前 n=60	事後 n=41
1 やりたいことができる	34	22
2 達成感が感じられる	22	23
3 安定している	10	2
4 公平な評価	11	6
5 給与の高さ	16	7
6 仕事の進め方の裁量(自由度)の多さ	12	8
7 福利厚生の充実(育児制度や休暇の取りやすさなど)	24	16
8 何かへの役立ち観や貢献実感が感じられる	21	11
9 人間関係がよい	36	19
10 仕事を通して成長できる	14	16

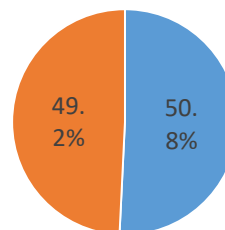
※第8回アンケート回答

	事前 n=60	事後 n=41
働きやすさ(左の1, 3, 5, 7, 9)	120	66
働きがい(左の2, 4, 6, 8, 10)	80	64

事前アンケート
(n=60 複数回答)



事後アンケート
(n=41 複数回答)



学生と雇用側のマインドを変えたいこと②

**「働きやすさ」を
企業選びの軸(学生)
学生への訴求ポイント(企業)と
捉えてほしくない！**



学生には「働きがい」にも目を向けてほしい
魅力ある大人の姿を雇用側は伝えてほしい

学生と雇用側のマインドを変えたいこと③

**「オンライン」の方が
「安全につながる場」
であることを共有したい！**



対面の代替手段というだけでなく
人と人がつながる大きなきっかけになる